

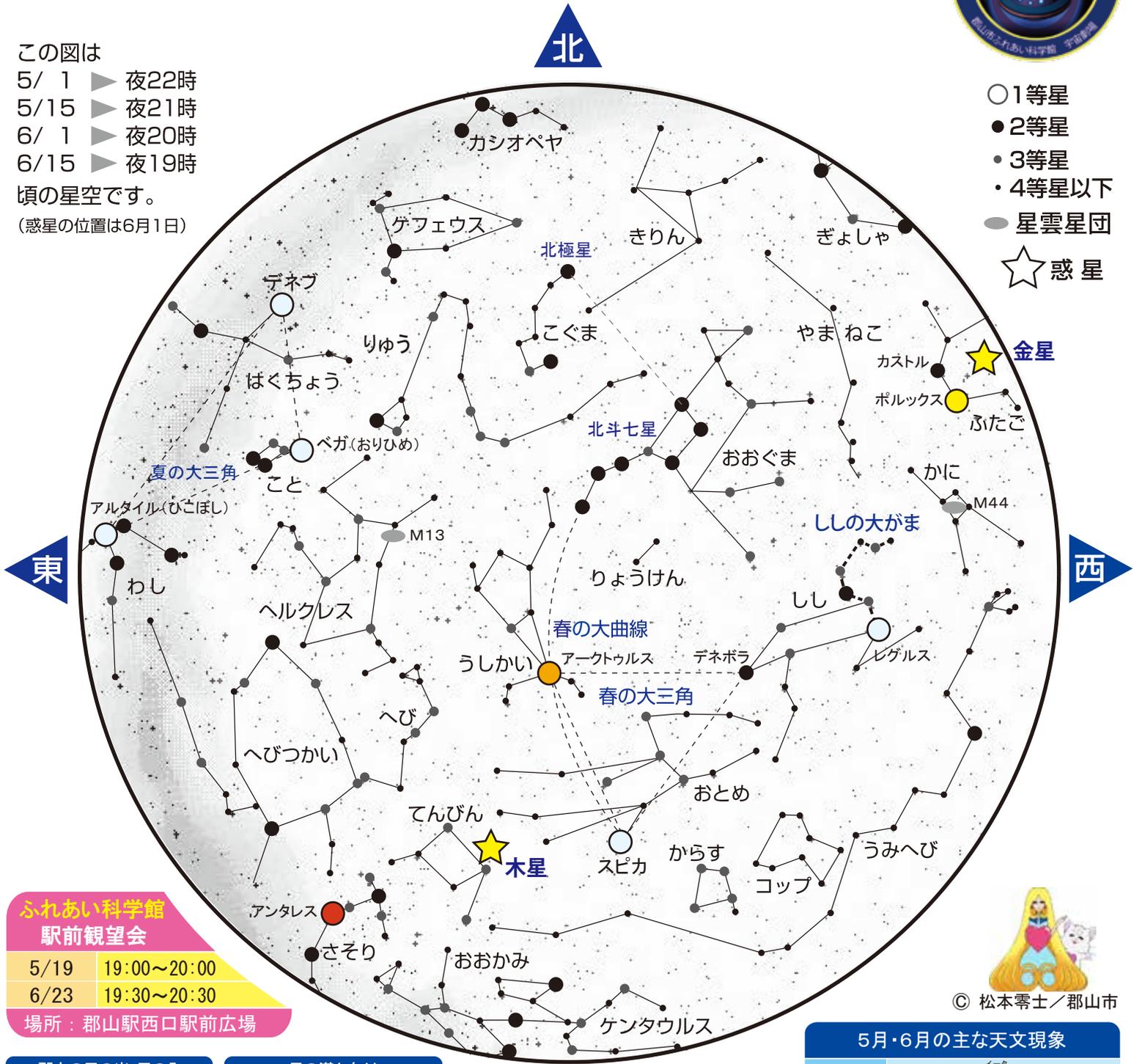
2018年

# 5月▶6月の星空



この図は  
 5/ 1 ▶ 夜22時  
 5/15 ▶ 夜21時  
 6/ 1 ▶ 夜20時  
 6/15 ▶ 夜19時  
 頃の星空です。  
 (惑星の位置は6月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星



**ふれあい科学館 駅前観望会**  
 5/19 19:00~20:00  
 6/23 19:30~20:30  
 場所：郡山駅西口駅前広場



郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け	
5/ 1	4:44	18:28	新月	5/26, 6/24
5/15	4:30	18:41	上弦	5/ 3, 6/ 1
6/ 1	4:19	18:54	満月	5/11, 6/ 9
6/15	4:17	19:01	下弦	5/19, 6/17

※上弦、下弦は半月です。

5月・6月の主な天文現象	
5/ 6	みずがめ座 <sup>イータ</sup> 流星群が極大
5/ 9	木星が衝
6/21	夏至
6/27	土星が衝

この時季は6月21日の夏至に向けて夜が短くなる一方、夜空には見どころがたくさんあります。まず、日の入りからしばらくの間は西の空で金星が見られます。金星は一目見てわかる明るさと美しさで、その輝きから「宵の明星」の名前で親しまれています。6月中は21時を過ぎても沈まず、じっくり見ることができます。また、5/17・18、6/16には細い月と並んで見え、2つの天体の接近は見ごたえがあります。さらに、金星は地球よりも太陽に近い軌道回る惑星のため、望遠鏡では月のように満ち欠けして見えます。長期間続けて観察してみましょう。

金星の他に、木星もこの時期に見ごろを迎えます。金星と木星の明るさや色を比べてみましょう。望遠鏡では木星の表面に縞模様があり、4つのガリレオ衛星の並び方が毎日変化する様子を楽しめます。

南の空には、春の星座たちがよく見えます。特に、うしかい座の「アークトゥルス」とおとめ座の「スピカ」は見つけやすく、星座を探す際の目印になります。夜空とともに輝く様子から、2つの星は「春のめおと星」と呼ばれます。梅雨の時期ではありますが、晴れた日には空を見上げてみましょう。夜も暖かくなってきましたが、長そでを着ていくと虫よけ対策にもなり、快適に夜空を見られます。

